

社会を③つの角度からのぞく

アーティストと専門家、そして高校生のコラボ!

びゅーVIEWビュー展

公益財団法人 江副記念財団 45周年記念事業



Project Report

Contents

もくじ

展覧会のコンセプト・展覧会情報・展覧会までのプロセス	p3
展覧会テーマ1：人生100年時代。どう生きる？どう支え合う？	p4
展覧会テーマ2：ローカルなグローバル	p5
展覧会テーマ3：心理学、実験中！	p6
レポート：展覧会の目的と結果	p7
来場者数・来場者コメント	p8 - p9
メディア掲載	p10 - p11

WEB <http://view3.info>

Process WEB <http://www.ezoe-mf.or.jp/ezoemf45>

Facebook <https://www.facebook.com/ezoemf45>

Twitter <https://twitter.com/ezoemf45>

Concept

展覧会のコンセプト

高校生がプロのアーティストをキュレーションする、 3つのテーマの「未来の社会」展示

この展覧会プロジェクトは、未来の大人達となる高校生と、大人になった江副記念財団奨学生 OB/OG のアーティスト・スペシャリストが、互いにインスピレーションとなり、世代を越えた理解と学びが融合する場を創ります。社会の仕組みと課題を熟知したスペシャリストの思想を、高校生が自らの感性で咀嚼し、アーティストが独自の発想と技法で表現する。三者が共に「新たな価値」を作り上げる、未来の展示です。

世代を越え、組織を越え、想像を越えた出会いから、主体的な知恵と能力が融合し、豊かな社会を創造する。これが江副記念財団 45 周年記念事業に込めた想いです。

Exhibition Info

展覧会情報

- 会期** 会期 2018 年 3 月 26 日 (月) ~ 4 月 1 日 (日) 11:00 ~ 20:00 入場料無料
- 会場** 会場：渋谷ヒカリエ 8 階 アートギャラリー「8/CUBE」
- 8/CUBE HP** <http://www.hikarie8.com/cube/>

Process

展覧会までのプロセス

- 2016.09** 江副記念財団 45 周年記念事業企画立案スタート
- 2016.11** 元奨学生 5 名による実行委員会結成
- 2017.03.31** 江副記念財団 45 周年記念事業 公式スタート
- 2017.05.01** キュレーター高校生応募スタート
- 2017.05.26** キュレーター高校生応募締め切り
- 2017.06** キュレーター高校生面接
- 2017.06.26** キュレーター高校生決定
- 2017.07.17** キックオフ・ミーティング
- 2017.07-08** セッション期間
- 2017.08.26** シェア・ミーティング 1 ~ キュレーター高校生によるアートコンセプトの発表~
- 2017.08-09** セッション期間
- 2017.09.30** シェア・ミーティング 2 ~ アーティストによる作品表現方法の発表~
- 2017.11.03** 展覧会戦略ミーティング 1 ~ キュレーター高校生による展覧会 PR アイデア発表~
- 2017.12 以降** 展覧会戦略ミーティング 2
- 2018.03.26** 展覧会スタート

Exhibition Theme 1

展覧会テーマ1

人生100年時代。どう生きる？どう支え合う？

100歳まで生きる時代を控え、あなたはどの人生を設計しますか。何歳まで働きますか。年金や貯蓄は充分そうですか。不安も多いものの、長寿は人類の長年の夢です。これまでにない長寿社会、十人十色の人生を どう生きるか、どうお互いを支え合い、どう優しい社会を実現していけば良いか。みんなで考えます。

宮城県 高校2年生

武田 真由子 *Mayuko Takeda*

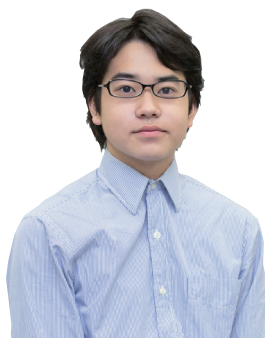


展覧会に向け、いろいろなことを考えたり、チームメンバーと話し合ったりすることが楽しみなのはもちろんですが、これらを通し新しい自分を見つけることができそうワクワクしています。楽しむことを忘れずに、素敵なチームと頑張っていきます。お楽しみに！

キュレーター 高校生

麻布高等学校 1年生

緒方 希 *Nozomu Ogata*



今回はこのような機会がなければ会うこともできなかったであろう方々と関われることを魅力的に感じ、参加させていただきました。今回の企画を通して自分自身の価値を高められるよう、また折角参加させていただくので当然ながら企画の成功に全力で力を注いでいきます！

キュレーター 高校生

フェリス女学院高等学校 1年生

三枝 響子 *Nozomu Ogata*



人生が100年ある時代がもうすぐ来るらしいのですが、みなさんはどう思いますか？いろいろ思い浮かぶことがありますよね！どうなるかは未知数ですが、個性的なメンバーと一緒にワクワクのつまった楽しい展覧会をめざしてがんばります！

キュレーター 高校生

横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授

関 芙佐子 *Fusako Seki*



専門分野は社会保障法、高齢者法。社会の課題を第3者的に風刺するのではなく、専門家がかわる形でアートで美しく表現し、優しい高齢社会を想像しうる作品の制作を目指します。世界的にも新しいこの取組みに、みんなと一緒に挑んで参ります。

スペシャリスト

アーティスト・アートディレクター

成田 久 *Hisashi Narita*



僕なら100歳までカッコよく生きて、世界でクリエイティブしたい。君達がこれから生きるHAPPY♥な83年を想像し、『何か』を妄想してみませんか？宇宙は全て誰かのLUCKY★な妄想から生まれている。人生、動かすのは自分次第。Come on! Let's try! Let's try! try!

アーティスト

Exhibition Theme 2

展覧会テーマ2

ローカルなグローバル

人は昔から世界中の国境を越えて移動をくりかえしてきました。友人・親戚をたずねて、夢・希望を追い求めて、あるいは危険や貧困を逃れて。辿りついた地で、新たな人と人の出会いがあり、新しい物語が生まれていきます。高校生の視点から日本の中のある町に存在する国際社会に向き合います。

ぐんま国際アカデミー高等部 2年生

栗田 理恵子 *Rieko Kurita*

この企画に参加しようと思ったきっかけは、企画や運営をすることが楽しそうだと思ったからです。来年の3月に、渋谷ヒカリエ 8F で私たちの作品を展示します。高校生がこんなことができるんだ、と言ってもらえるようなものにできるよう頑張ります！



キュレーター 高校生

認定 NPO 法人 難民支援協会
ディレクター 兼 事務局長

吉山 昌 *Masaru Yoshiyama*

学生時代に難民支援協会の立ち上げに参画。経営コンサルティング会社勤務を経て、同協会の職員に。難民の社会統合や認知獲得などの事業をディレクターとして担当。また、難民起業サポートファンドにて難民の企業支援も行う。



スペシャリスト

JICA（独立行政法人 国際協力機構）
人間開発部 社会保障チーム 課長

森田 千春 *Chiharu Morita*

ブラジルのアマゾン地域に3年、アフリカのモザンビークに3年勤務。中南米・アフリカを中心に教育・職業訓練、環境保全、日系社会支援、社会保障等のプロジェクト・マネジメントに従事。海外の現場で出会った人々の生の声を思い出しながら、よりよい社会について考えます。



スペシャリスト

フォトグラファー

佐々木 加奈子 *Kanako Sasaki*

私のインスピレーションは人々の日常の物語や記憶です。どんなに違う境遇や文化を持っている人でも、そこから共通点を見出し、我がこととして捉えることができる想像力の力を信じています。写真の新しい効果を、キュレーター高校生と一緒に模索して行きます。



アーティスト

Exhibition Theme 3

展覧会テーマ3

心理学、実験中！

心理学とは、人の心を明らかにすること。現実世界とバーチャルな世界、主観世界と物理世界、生と死。私たちはこれらの対極的な世界の狭間、二つが作る「渚」をさまよいながら行き来する冒険者だと言えます。この世界はどうやって出来てきたのか？世の面白さを、アートとあなたの心を通して見ていきます。

石川工業高等専門学校 3年生

河合 菜緒 Nao Kawai



心理学と美術、そして私が今まで学んできた IT と絡めた作品を作っていきたいと思っています。美術作品って難しそう、わからない…というイメージを壊せるようにチーム一丸となってたくさん意見を交わしていきたいです。よろしくお願います！

キュレーター 高校生

獨協高等学校 1年生

鮫島 亀親 Kishin Sameshima



僕らのチームはベルリン・福岡・金沢・東京と遠隔地を結んで活動します。楽器が好きなので音楽・アート・心理学を融合させられたら…と色々思案中です。AI や VR が話題の今だからこそ、人間らしさや命の意味を表現したい！そんな夢に向けてがんばります。

キュレーター 高校生

九州大学 デザイン人間科学部門
心理学 准教授

妹尾 武治 Takeharu Seno



東京大学大学院人文社会系研究科修了。心理学博士。自分が乗っている電車が止まっているのにもかかわらず、反対方向の電車が動き出すと自分も動いているように感じる現象（ベクシオン）を主な研究テーマとしている。著書に『脳がシビれる心理学』など。

スペシャリスト

美術家

雨宮 庸介 Yosuke Amemiya



「まだ知らない親友に会いに、正装して荒野を歩いていく」ような事をいっしょにできたらと想像しています。どうせ一緒にすすなら笑顔で接してほしいけど、心では「ぜってーオメーみてえにはならねえ」と思っているような健全な若い人と一緒に仕事できたら嬉しいです。

2017年5月キュレーター高校生募集要項より抜粋

アーティスト

Report

展覧会の目的と結果

展覧会の目的と結果

【目的 1】 社会テーマをアートの中で直感的に伝え、そのテーマの視点や課題をとらえ直す機会の創出。

【結果 1】 研究における調査数字や論文だけではなく、アートの力を活用して「伝える力」と「共感する力」を、大学教授や実務家が試す機会となり、その影響・効果を、企画と展覧会を通して実感できた。特にアートと結びつきにくいと思われていた「人生 100 年時代」テーマは、展示作品もトークセッションイベント（2018 年 4 月 1 日）も非常に盛況で、大きな手応えと反応を得られる事ができた。

【目的 2】 元奨学生のアーティスト・スペシャリスト、10 代のキュレーター高校生達との協業により、社会テーマに若い世代の感性と未来の視点を加えた、新しい価値の創出。

【結果 2】 財団奨学生コミュニティーがベースにあるからこそ実現できた【社会テーマ x アート x 高校生】という掛け合わせにより、多角的な対話と思考の場（この場自体も、アートととらえられる）を創出し、その結果をアート作品として展示できた。また、キュレーター高校生はプロフェッショナル（アーティスト・スペシャリスト）の問題への真摯な態度に触れ、多くの学びを得る事で、下 3 つのアートコンセプトを生み出す事ができた。会場アンケートでも「アイデアが斬新」「100 歳をネガティブにとらえていたので、新しい発見だった。明るい気持ちになった」などのコメントを頂き、生み出した新しい価値の影響を垣間見る事ができた。

～各テーマの高校生から生まれたコンセプト～

ローカルなグローバル …………… 大泉町に暮らす移民コミュニティーとストーリー

心理学、実験中！ …………… 現実と非現実のはざまである「なぎさ」

人生 100 年時代 …………… 「時間はプレゼント」

【目的 3】 現役生・元奨学生の活動や情報発信の活発化、および若い世代に向けての財団プレゼンスの向上。

【結果 3】 本企画がきっかけで奨学生間の距離が縮まり、部門を超えた横ネットワークが広がった。総会で毎年会うだけでなく、協業する事がつながりや化学反応を生み出す事も実感できた。また本企画では元奨学生の他に高校生が加わった事で、展覧会来場者やメディアから関心と注目を集め、1 週間で 1,751 名が来場する展覧会となった。

Responses

来場者数・来場者コメント

来場者数

- 企画名 ……………『びゅー VIEW ビュー』展
- 開催期間 …………… 2018年3月26日(月)～4月1日(日)
- 開催場所 …………… 渋谷ヒカリエ 8/CUBE 1,2,3 ギャラリー
- 総来場者数 ……… 1,751名

来場者コメント

全体コメント

- 社会問題とアートが、どう結びついたアウトプットが出てくるか興味がありました。
- 高校生の柔らかな感性に未来を感じました。
- アーティストと高校生のコラボというのが面白く、今の高校生と接する事ができ楽しかったです。もちろん展示も深く考えさせられたり楽しかったです。
- キュレーター高校生によるガイドツアーがとてもよかったです。素敵な高校生と出会えて、未来も明るく感じました！ありがとうございました。
- 未来に向っている感じがします。3つとも考えぬかれた展示でした。100歳のおばあちゃんを見て明るく生きようと思いました。
- とてもユニークなプロセスで作られた作品だと思います。ガイドしていただきよくわかりました。
- The exhibition made me think about getting old but with joy in life. I enjoyed the photographs of the young people.
- アートと学術の協働をとっても有意義な形で、学びや制作に活かされていて、素晴らしい企画だと思いました。
- 学生とプロのアーティストがコラボレーションする形の展示は、新しい発想を生み出すきっかけとなるとと思います。これからもこのような企画を期待しています。
- 展覧会に至るまでの過程をもう少し詳しく教えていただけると理解が深まると思いました。
- 一度きりでなく、また次の機会があったらいいと思います。



来場者コメント

ローカルなグローバル

- 10-20 代のメッセージの裏側を感じて、胸がちょっと痛くなりました。そのメッセージを受け止める日本人高校生の活躍に期待します。作品にも反映されていると思います。
- 実筆と写真、訳の 3 点で、写真の見方が変わり、文字や写真に背景を見ました。美しかったです。
- 当たり前になっていた点（ 国境の異なる人がいること ）に着目し未来に向けてメッセージを送る行為が改めて新鮮に感じ、メッセージがおもしろく印象に残りました。

心理学、実験中！

- 本物でも偽物でもすごいと思いました。見えないものが見える、という体験が斬新でした。
- 白黒はっきりしないことが多い現代社会で、正しさを問うのではなく、グレーをどう解釈するかに興味がありました。
- 主観世界と { リアル・現実・物理 } 世界のフュージョンが面白いと思いました。このテーマは我々一人一人のリアルな人生（生活）を表していると思います。

人生 100 年時代

- 100 年生きることに前向きではなかったのが前向きに生きるって考えにビックリしました。
- きれいな色に圧倒されました。色が大好きです。
- 100 年をプレゼントされたという考え方、100 年クイーンさんのステキな笑顔、T シャツ 100 枚の布でできた衣装が本当にキレイでハッと息をのみました！

授業イベントおよびトークセッション「聞かせて☆あなたの 100 年物語」

- 外国人と日本人、なかなか混ざり合うための壁を越えこわすには、多くの障害への知識が必要であると強く思いました。
- はじめて心理学に触れる機会をいただき、とても興味深いお話を聞けておもしろかったです。新しい視点、考えをいただきました。
- 「ソーシャルデザイン」は堅苦しいイメージがあったのですが、この講義を聴いて、私たちにとって身近なもので、一般市民である私達もみんなにとって暮らしやすい社会にしていけるために、考え続けなければいけないのだと感じました。
- 重要な社会的テーマをアートが軽やかにポジティブに入口を作る、そのプロセスが素晴らしく、本当に価値のある展覧会とトークショーでした。高校生 3 人がめっちゃくちゃレベルが高く、日本の未来は明るい！とうれしくなりました。



アーティスト：佐々木 加奈子
「This is how I started -こうして私は始まった-」



アーティスト：雨宮 庸介
「視られる果実と果実、視る果実」



アーティスト：成田 久
「私は 100 年♡をプレゼントされました。あなたはどうか生きルン？ LOVE」



上左：多様化する社会でどう生きていくか 上右：オドロキの心理学
下：聞かせて☆あなたの 100 年物語 ~チーム 100 年さんトークセッション~

Publications

メディア掲載

2018年1月29日【新聞・WEB】
上毛新聞



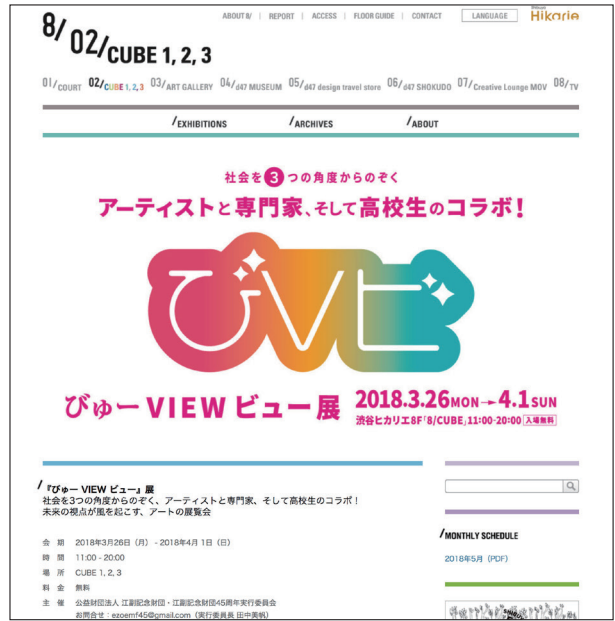
2018年2月2日【新聞・WEB】
毎日新聞



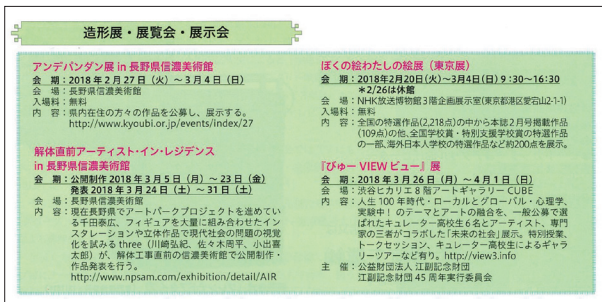
2018年3月1日【WEB】
デザイン情報サイト [JDN]



2018年3月1日【WEB】
渋谷ヒカリエ 8/ WEB



2018年3月1日【雑誌】
美術教育



2018年3月1日【業界情報欄】
JAGDA MAP



2018年3月25日【新聞】
神奈川新聞

**未来の視点が風を起す、アートの展覧会
「びゅーVIEWビュー」展**
(公財) 江副記念財団・江副記念財団45周年実行委員会 イベント

江副記念財団は3月26日(月)〜4月1日(日)の7日間、渋谷ヒカリエ(東京都)で高校生とアーティスト、専門家がコラボし社会を3つの角度からのぞくアート展覧会「びゅーVIEWビュー」展を開催します。

高校生の関心が高い3つのテーマ(人生100年時代・国際社会・心理学)において、それらの分野で活躍する専門家と同財団の元奨学生で現在活躍するアーティスト、そして一般公募で選ばれた現役高校生が連携し議論を重ねて、思想を芸術作品「未来の社会」に仕上げました。テキストイルアートに写真作品、空間演出と出来上がった形はそれぞれ個性的です。

午前11時〜午後8時、入場無料。イベントの詳細は「未来の社会」展示プロジェクトで検索してください。
問い合わせはメールにて: 同実行委員会 (ezoemf45@gmail.com)

2018年3月26日【ラジオ】
NHK ジャーナル

NHK ジャーナル
ラジオ第1 毎週月曜〜金曜 午後10時

NHKジャーナルは、夜10時からニュース番組です。「キラー目と今の時代がわかる」をテーマに、ニュースが詳しくわかりやすく解説します。スポーツニュースや気象情報などのほか、最新のニュースや、最新の社会情勢、最新の文化情報、最新のファッション情報など、幅広いテーマを取り上げ、多彩なゲストとともにお届けします。

いままさラジオを聴く! NHK Radio Podcast
お便りはこちらから Twitter @nhk_journal



2018年2月25日(キュレーター高校生会議時)の取材風景

2018年3月31日【ラジオ(生放送)】
RIKOmaniaの今夜も渋谷で待ち合わせ



2018年3月27日【WEB】
装苑

装苑 SO-EN ONLINE

CULTURE / NEWS
「装苑」でおなじみ、アートディレクター成田久さんが参加する『びゅーVIEWビュー』展

アートディレクター成田久さん。『装苑』でファッション雑誌のビジュアルディレクター、『装苑』でファッションディレクターを務める成田久さん。4月1日(日)まで、東京・渋谷の「ヒカリエ」で開催されるアート展覧会「びゅーVIEWビュー」展の開催が決定。『びゅーVIEWビュー』展は、社会の仕組みと意識を刷新した専門家(作家・作家・作家)の視点、最新の視点でアートコンテストと連携し、アーティストが独自の視点と技術で作品を制作するアート展覧会。アートディレクター成田久さん、デザイナー成田久さん、デザイナー成田久さんが参加する。成田久さん参加するアート展覧会「びゅーVIEWビュー」展は、100名以上のアーティストが参加する。成田久さんのアート展覧会「びゅーVIEWビュー」展は、100名以上のアーティストが参加する。成田久さんのアート展覧会「びゅーVIEWビュー」展は、100名以上のアーティストが参加する。

「びゅーVIEWビュー」展は、3月26日(月)〜4月1日(日)まで、東京・渋谷の「ヒカリエ」で開催されるアート展覧会。成田久さんが参加する。成田久さんのアート展覧会「びゅーVIEWビュー」展は、100名以上のアーティストが参加する。

2018年3月30日【Twitter】
chFILES 関東版

ch FILES 関東版 @chFILES · 3月30日

高校生がアーティストや専門家とコラボした展示会が開催中と聞き、覗いてきました #びゅーVIEWビュー展。高校生が様々な可能性を広げるフィールドがあることは、嬉しいです。渋谷ヒカリエに8階アートギャラリー「8/CUBE」にて、4/1(日)まで。ぜひ週末に訪れてみて!

2018年3月【新聞】
茨城新聞
画像なし